

2015年10月21日 全6頁

## Indicators Update

# 9月貿易統計

### EU向け消費財、米国・アジア向け資本財が軟調

エコノミック・インテリジェンス・チーム  
エコノミスト 小林 俊介

#### [要約]

- 2015年9月の貿易統計では、輸出金額は前年比+0.6%と13ヶ月連続の増加となった。しかし前月の同+3.1%からは減速しており、市場コンセンサス(同+3.8%)を下回っている。輸入金額は同▲11.1%と9ヶ月連続の減少となり、貿易収支は▲1,145億円と6ヶ月連続の赤字であった。
- 今月の結果は、海外需要の停滞が継続していることを確認させる内容であり、当面は軟調な推移が予想される。とりわけ原油価格下落やドル高が企業部門の重石となっている米国と、過剰設備の調整が必要なアジアへの資本財や素材の不調が続く可能性には注意が必要だ。
- ただし先行きの輸出は、強弱入り混じりながらも緩やかな回復基調に復するだろう。米国では家計部門を中心に底堅い景気拡大が続いており、耐久財を中心に輸出の増勢回復が見込まれる。欧州経済については原油価格下落やECBによる量的緩和の効果などから持ち直しており、基調としての回復が継続するだろう。アジア経済に関しては、中国の預金準備率引き下げや利下げなどによる実体経済の底上げが確認され始めており、消費財等を中心として一段の需要減少は回避される公算が大きい。

図表1：貿易統計の概況(原系列、前年比、%)

	2015年								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
輸出金額	17.0	2.5	8.5	8.0	2.4	9.5	7.6	3.1	0.6
コンセンサス									3.8
DIR予想									▲0.7
輸入金額	▲9.1	▲3.6	▲14.4	▲4.1	▲8.6	▲2.9	▲3.1	▲3.1	▲11.1
輸出数量	11.1	▲2.1	3.2	1.8	▲3.8	0.0	▲0.7	▲4.1	▲3.9
価格	5.3	4.7	5.1	6.0	6.4	9.5	8.4	7.5	4.6
輸入数量	▲6.3	4.5	▲10.3	0.1	▲5.3	▲1.4	▲2.9	▲2.9	▲2.0
価格	▲3.0	▲7.7	▲4.6	▲4.2	▲3.5	▲1.5	▲0.2	▲2.4	▲9.3
貿易収支	▲11,738	▲4,285	2,227	▲593	▲2,206	▲744	▲2,705	▲5,694	▲1,145

(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

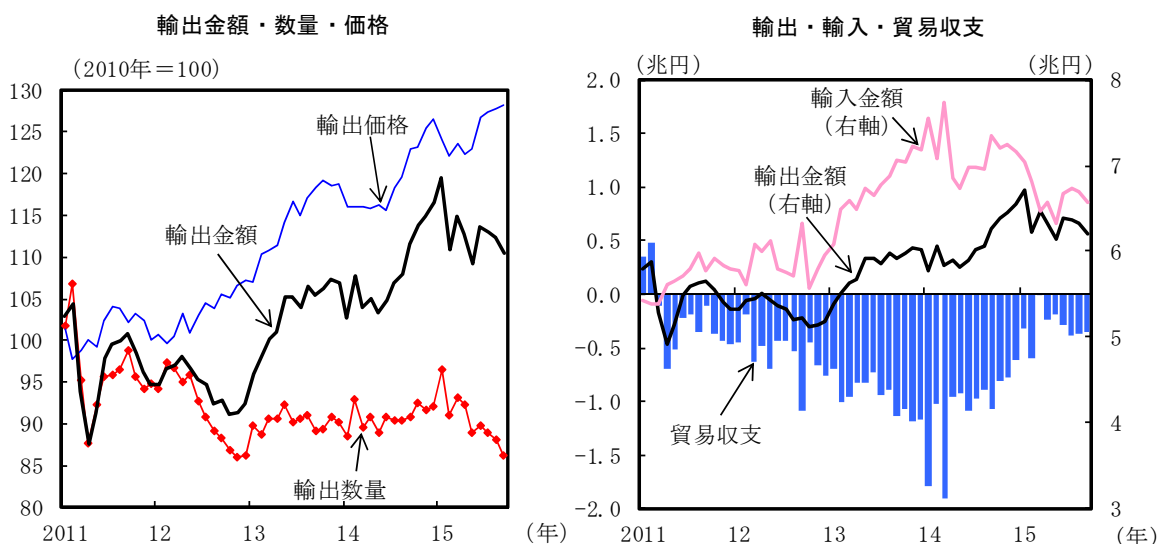
(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

## 輸出数量の減少が続く

2015年9月の貿易統計では、輸出金額は前年比+0.6%と13ヶ月連続の増加となった。しかし前月の同+3.1%からは減速しており、市場コンセンサス（同+3.8%）を下回っている。営業日が前年同月よりも1日少ない効果を加味しても弱い内容である。輸出数量は前年比▲3.9%となり、3ヶ月連続の減少となっている。輸出価格の伸びは同+4.6%と前月（同+7.5%）から減速した。輸入金額は同▲11.1%と9ヶ月連続の減少となり、貿易収支は▲1,145億円と6ヶ月連続の赤字であった。

輸入金額を価格要因と数量要因に分けて見ると、輸入価格は原油価格の下落を主因として前年比での低下が続いており、前年比▲9.3%となった。輸入数量は同▲2.0%となり、5ヶ月連続の低下であった。輸入金額は輸入価格低下の加速を受けて前月の同▲3.1%から減少幅が拡大しており、季節調整値でみた輸入金額は前月比▲1.9%と2ヶ月連続の減少となった。

図表2：輸出金額・数量・価格、貿易収支（季節調整値）



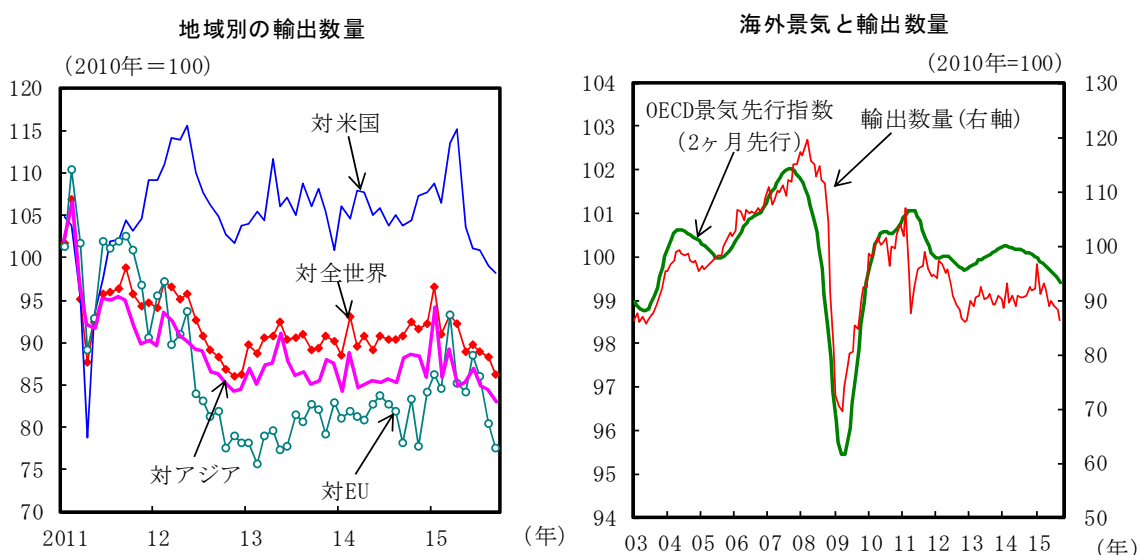
(注) 輸出数量、輸出価格の季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

## EU 向け消費財、米国・アジア向け資本財が軟調

季節調整値でみた輸出金額は前月比▲1.7%となった。輸出数量は同▲1.3%となり（季節調整値は大和総研による）、3ヶ月連続の減少となっている。輸出数量を地域別にみると、とりわけ EU 向け（同▲3.8%）の落ち込みが大きい。特殊要因とみられる船舶の輸出が大きく増加している中での全体の落ち込みであり、内容はヘッドラインの数値以上に弱い。年初に大きく増加した自動車輸出の落ち込みが継続している点が気がかりだ。他方、米国向け（同▲0.8%）輸出は、同国の家計消費の堅調さを背景として自動車等が健闘しているものの、企業部門の弱さを反映して、資本財や素材等が冴えない。アジア向け輸出数量も同様に、過剰設備の調整を背景として資本財や素材等の軟調な推移が継続しており、同▲1.7%となった。

今月の結果は、海外需要の停滞が継続していることを確認させる内容であり、当面は軟調な推移が予想される。とりわけ原油価格下落やドル高が企業部門の重石となっている米国と、過剰設備の調整が必要なアジアへの資本財や素材の不調が続く可能性には注意が必要だ。ただし先行きの輸出は、強弱入り混じりながらも緩やかな回復基調に復するだろう。米国では家計部門を中心に底堅い景気拡大が続いており、耐久財を中心に輸出の増勢回復が見込まれる。欧州経済については原油価格下落や ECB による量的緩和の効果などから持ち直しており、基調としての回復が継続するだろう。アジア経済に関しては、中国の預金準備率引き下げや利下げなどによる实体经济の底上げが確認され始めており、消費財等を中心として一段の需要減少は回避される公算が大きい。

図表 3：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



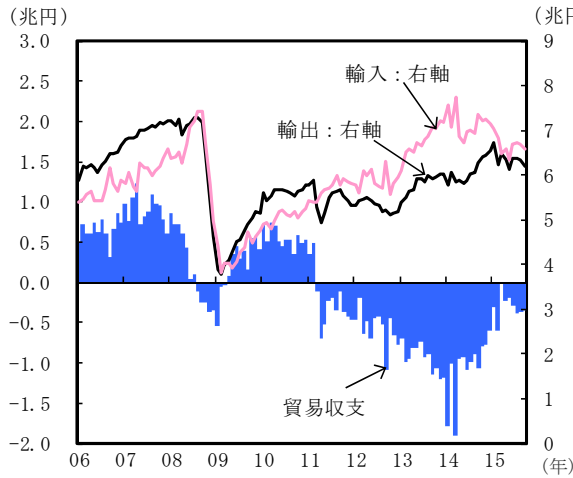
(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

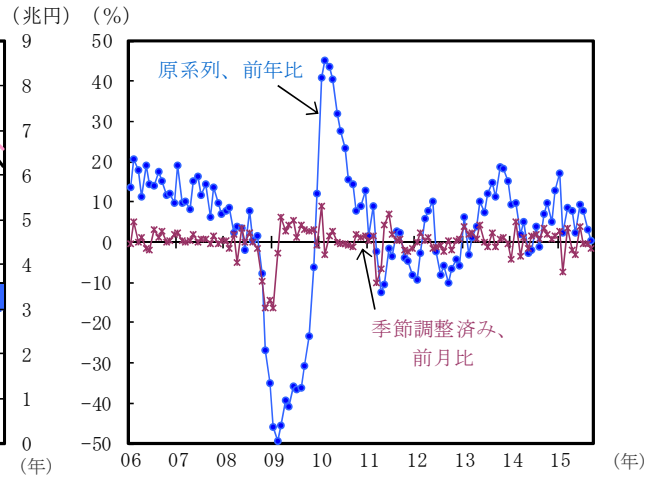
概況

輸出入と貿易収支（名目、季節調整値）

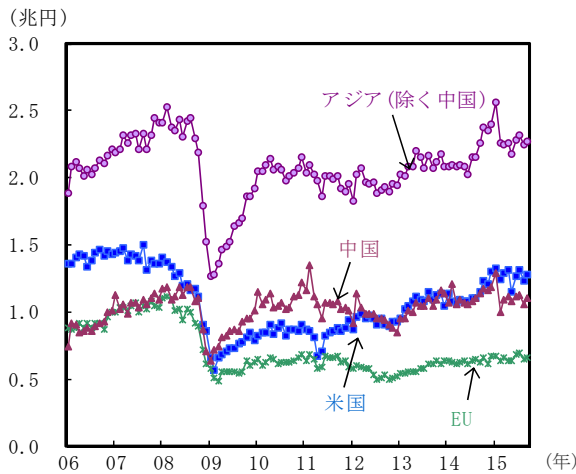


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率（名目）

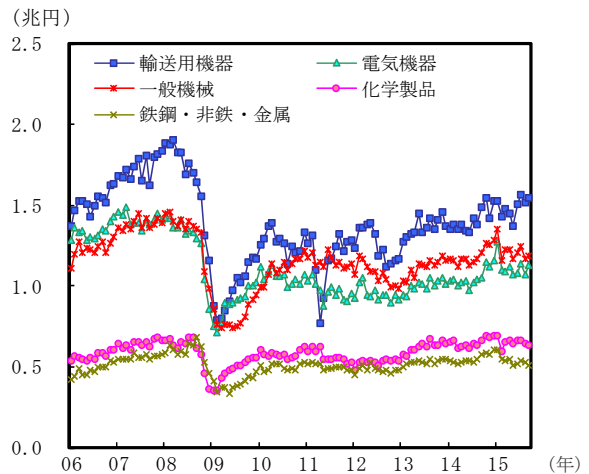


主要地域・国別の輸出額（名目、季節調整値）

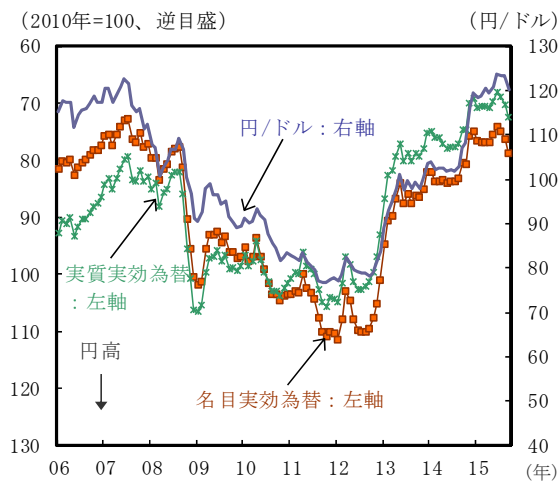


(注) 季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額（名目、季節調整値）

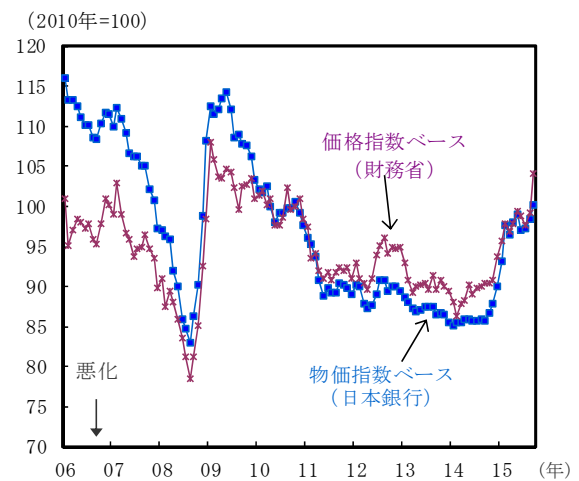


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数（輸出物価指数/輸入物価指数）。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2015/04	2015/05	2015/06	2015/07	2015/08	2015/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	8.0	2.4	9.5	7.6	3.1	0.6	100.0	0.6
食料品	30.1	22.2	22.9	26.1	18.1	27.4	0.7	0.2
原料品	2.8	2.4	2.3	▲12.2	▲5.0	▲9.7	1.3	▲0.1
鉱物性燃料	▲16.0	1.3	▲5.6	▲7.8	0.1	▲21.1	1.9	▲0.5
化学製品	5.7	1.9	8.4	2.3	0.2	▲4.3	9.4	▲0.4
原料別製品	3.1	▲4.8	▲0.6	2.6	▲3.1	▲8.2	11.5	▲1.0
鉄鋼	5.3	▲6.7	▲8.0	0.0	▲8.2	▲17.0	4.5	▲0.9
非鉄金属	▲3.2	▲6.0	3.8	5.0	1.8	▲6.7	1.9	▲0.1
金属製品	4.8	2.0	5.3	2.6	2.9	0.7	1.5	0.0
一般機械	4.9	0.6	7.2	8.3	▲0.5	▲1.9	18.0	▲0.4
電気機器	9.0	4.4	11.3	10.5	2.4	6.9	18.7	1.2
半導体等電子部品	11.5	11.8	14.9	9.0	3.9	8.5	5.6	0.4
I C	11.2	13.8	16.8	10.4	4.8	10.5	3.9	0.4
映像記録・再生機器	▲5.6	▲10.9	18.6	27.3	▲27.6	▲15.6	0.6	▲0.1
音響・映像機器の部分品	11.8	11.2	11.4	24.9	7.2	13.2	0.6	0.1
電気回路等の機器	7.1	2.5	5.8	5.0	▲2.6	▲3.7	2.4	▲0.1
輸送用機器	5.8	2.2	12.3	10.4	9.5	3.7	25.3	0.9
自動車	7.3	0.2	17.0	9.6	11.1	7.6	17.2	1.2
自動車の部分品	2.0	▲1.7	2.4	3.4	▲2.0	▲1.3	4.6	▲0.1
その他	28.3	10.5	20.5	11.5	9.0	5.9	13.1	0.7
科学光学機器	▲0.1	▲0.9	▲0.0	▲1.8	▲7.4	▲4.9	3.2	▲0.2

米国向け輸出金額 内訳								
	2015/04	2015/05	2015/06	2015/07	2015/08	2015/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	21.3	7.4	17.6	18.8	11.1	10.4	100.0	10.4
食料品	61.9	16.9	24.7	▲1.4	4.6	13.4	0.6	0.1
原料品	5.5	▲2.4	19.6	▲49.3	26.9	33.6	0.6	0.2
鉱物性燃料	▲19.7	502.9	18.9	93.4	▲39.8	▲9.6	0.5	▲0.1
化学製品	20.0	3.5	26.0	37.7	19.7	17.6	5.4	0.9
原料別製品	29.0	9.2	9.8	8.1	3.7	▲4.5	6.5	▲0.3
鉄鋼	30.9	3.8	▲5.2	▲6.0	▲6.0	▲24.4	1.6	▲0.6
非鉄金属	42.3	35.5	16.8	6.9	▲14.1	▲12.8	0.5	▲0.1
金属製品	27.7	6.4	0.1	14.5	8.5	11.3	1.5	0.2
一般機械	14.0	3.5	15.9	8.2	5.8	▲4.9	20.2	▲1.1
電気機器	10.5	2.9	13.9	18.5	7.3	15.5	15.3	2.3
半導体等電子部品	22.3	15.1	18.2	17.2	4.8	20.6	2.2	0.4
I C	5.4	▲2.8	5.1	3.6	▲11.7	6.3	1.0	0.1
映像記録・再生機器	30.5	20.5	68.4	69.2	▲4.3	15.1	1.0	0.2
音響・映像機器の部分品	1.2	14.5	16.5	49.5	▲8.3	22.2	0.2	0.0
電気回路等の機器	12.1	▲4.7	10.0	12.7	0.7	6.5	1.4	0.1
輸送用機器	12.8	10.4	19.4	25.1	14.5	18.5	41.6	7.2
自動車	15.8	18.1	24.5	33.1	21.4	25.6	31.5	7.1
自動車の部分品	5.8	▲8.1	1.5	3.6	▲7.2	▲5.4	5.6	▲0.4
その他	88.7	11.2	20.6	23.8	20.0	15.1	9.3	1.4
科学光学機器	5.5	11.0	1.4	8.4	8.5	7.1	2.1	0.2

EU向け輸出金額 内訳								
	2015/04	2015/05	2015/06	2015/07	2015/08	2015/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	0.8	0.4	10.8	10.0	▲0.2	5.1	100.0	5.1
食料品	14.2	35.3	31.2	58.8	19.1	26.8	0.3	0.1
原料品	0.7	32.3	0.2	1.6	▲0.1	7.7	0.8	0.1
鉱物性燃料	284.7	▲58.3	177.2	▲45.6	▲27.7	▲8.7	0.2	▲0.0
化学製品	10.5	3.0	8.6	7.3	0.9	2.8	8.1	0.2
原料別製品	▲3.0	0.5	5.4	22.1	▲4.5	15.5	7.5	1.1
鉄鋼	2.6	▲9.9	20.7	117.1	▲23.5	83.6	1.9	0.9
非鉄金属	30.4	38.0	53.0	29.7	14.3	4.7	0.7	0.0
金属製品	▲1.5	15.3	4.2	8.0	▲11.4	▲1.6	1.4	▲0.0
一般機械	▲5.1	▲2.2	▲5.8	5.5	▲7.5	0.2	24.1	0.1
電気機器	▲0.6	▲3.8	4.3	7.8	▲1.5	▲2.6	18.6	▲0.5
半導体等電子部品	▲9.0	▲20.0	▲4.6	▲13.8	▲3.1	▲5.4	2.5	▲0.1
I C	▲18.9	▲32.6	▲16.1	▲17.8	▲12.4	▲9.7	1.4	▲0.2
映像記録・再生機器	▲49.8	▲36.0	22.9	9.0	▲6.1	▲31.0	1.0	▲0.5
音響・映像機器の部分品	68.6	27.7	26.0	16.0	▲8.1	▲27.7	0.7	▲0.3
電気回路等の機器	▲9.4	▲4.4	▲2.3	7.3	▲0.1	▲1.4	1.7	▲0.0
輸送用機器	10.2	▲2.3	33.8	22.9	7.3	19.4	26.5	4.5
自動車	5.6	▲10.3	17.1	13.6	▲3.0	10.6	16.4	1.7
自動車の部分品	0.6	5.9	27.0	22.7	36.6	16.4	5.5	0.8
その他	▲4.5	11.1	21.3	▲2.7	7.1	▲2.6	13.7	▲0.4
科学光学機器	▲7.0	▲0.8	12.3	14.5	5.5	▲12.1	3.2	▲0.5

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2015/04	2015/05	2015/06	2015/07	2015/08	2015/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	6.0	3.3	10.1	6.1	1.1	▲0.9	100.0	▲0.9
食料品	27.5	18.8	20.9	31.0	19.0	33.8	1.0	0.2
原料品	1.1	0.4	1.6	▲9.1	▲10.3	▲15.6	1.9	▲0.4
鉱物性燃料	▲29.6	▲27.0	0.6	▲15.2	▲19.5	▲38.9	2.0	▲1.3
化学製品	4.5	3.3	8.3	▲0.5	▲0.0	▲7.1	13.0	▲1.0
原料別製品	1.6	▲5.9	▲0.2	1.9	▲4.2	▲11.0	14.5	▲1.8
鉄鋼	2.1	▲9.5	▲7.2	▲2.6	▲9.7	▲18.8	6.0	▲1.4
非鉄金属	1.9	▲2.5	6.7	10.1	5.3	▲8.7	3.0	▲0.3
金属製品	▲0.3	▲0.8	6.3	3.8	▲0.5	▲3.1	1.6	▲0.1
一般機械	4.0	0.6	10.8	12.7	0.4	0.4	17.3	0.1
電気機器	9.9	7.8	13.1	10.8	2.4	7.2	23.6	1.6
半導体等電子部品	13.1	15.4	16.6	10.9	4.4	8.5	9.2	0.7
I C	13.9	18.9	20.0	13.1	6.8	11.9	6.7	0.7
映像記録・再生機器	0.6	▲16.1	▲2.2	21.6	▲49.4	▲24.8	0.5	▲0.1
音響・映像機器の部分品	1.1	10.6	21.0	17.6	10.8	14.3	0.6	0.1
電気回路等の機器	7.1	3.7	5.2	2.5	▲4.7	▲6.2	3.2	▲0.2
輸送用機器	1.2	7.5	11.6	▲0.9	9.0	8.7	9.9	0.8
自動車	▲1.9	▲3.5	10.6	2.2	18.5	7.9	4.9	0.4
自動車の部分品	▲1.0	0.4	▲2.3	▲0.1	▲8.2	▲3.2	3.5	▲0.1
その他	20.5	13.7	20.0	12.5	6.6	5.3	16.7	0.8
科学光学機器	2.3	▲0.4	▲0.4	▲4.4	▲10.6	▲5.0	4.3	▲0.2

中国向け輸出金額 内訳								
	2015/04	2015/05	2015/06	2015/07	2015/08	2015/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	2.4	1.1	5.9	4.2	▲4.6	▲3.5	100.0	▲3.5
食料品	55.6	31.9	37.8	17.9	24.7	81.4	0.4	0.2
原料品	10.3	9.7	14.1	▲15.4	▲10.5	▲14.6	2.9	▲0.5
鉱物性燃料	▲34.1	▲7.9	▲42.3	41.8	▲46.5	▲76.8	0.6	▲1.8
化学製品	7.3	3.4	7.0	▲1.4	0.9	▲2.8	13.6	▲0.4
原料別製品	0.4	▲5.4	3.3	2.4	▲5.6	▲13.4	11.7	▲1.7
鉄鋼	▲2.8	▲5.0	▲1.4	▲6.3	▲14.8	▲19.7	3.6	▲0.9
非鉄金属	4.8	▲9.4	9.9	17.7	6.6	▲13.4	3.0	▲0.5
金属製品	2.2	▲2.0	7.1	▲1.1	▲5.3	▲7.7	1.6	▲0.1
一般機械	▲3.6	▲0.7	7.4	11.8	▲0.7	▲2.2	17.7	▲0.4
電気機器	8.3	3.6	10.5	9.3	▲6.5	8.5	26.9	2.0
半導体等電子部品	13.1	7.6	14.2	▲1.5	▲12.6	4.2	8.9	0.3
I C	24.3	15.1	25.3	1.8	▲10.5	13.0	6.9	0.8
映像記録・再生機器	27.3	▲17.1	17.4	58.1	▲76.7	2.4	0.7	0.0
音響・映像機器の部分品	▲11.5	▲10.2	▲19.5	19.5	16.2	21.8	1.1	0.2
電気回路等の機器	3.7	▲0.2	0.3	0.5	▲10.4	▲11.8	3.4	▲0.4
輸送用機器	▲24.2	▲19.5	▲11.7	▲13.5	▲13.7	▲12.5	9.4	▲1.3
自動車	▲49.9	▲43.8	▲15.8	▲15.9	▲5.0	▲5.1	4.8	▲0.2
自動車の部分品	▲2.9	▲1.1	▲10.7	▲13.9	▲21.2	▲19.6	4.4	▲1.0
その他	20.3	16.5	15.1	10.9	▲1.1	2.4	16.9	0.4
科学光学機器	4.8	0.2	6.8	▲4.9	▲9.5	▲2.0	7.3	▲0.1

(出所) 財務省統計より大和総研作成